

W011 M83 (NGC5236)



赤経 13h37m00.2s 赤緯  $-29^{\circ} 52' 02''$   
等級 7.5 等 視直径 13.1'×12.2'  
距離 1500 万光年  
撮影 今村守孝  
(撮影場所 磐田市 竜洋海浜公園)  
2010 年 4 月 17 日 23:10  
MT-160 (f776mm F4.8)  
BJ-41L 冷却 CCD カメラ  
冷却温度  $-10^{\circ}\text{C}$   
露出: L = 5 分×5 枚 R = 5 分×4 枚  
G = 5 分×4 枚 B = 5 分×4 枚  
RGB は 2010 年 5 月 2 日 撮影  
総露出 85 分

M83 は、うみへび座の  $\gamma$  星の南東約  $8^{\circ}$  にある Sc 型の銀河である。日本では南中高度が低いため、あまり知られていないが、南天では最も明るい銀河の一つで「南の回転花火銀河」と呼ばれている。M83 では、大質量星が大量に生まれるスターバースト現象が起きていて、非常に活動的な銀河である。大質量星は寿命が短く、誕生から数千万年で超新星爆発を起こし、吹き飛んでしまう。M83 は超新星の出現頻度が高い銀河として知られている。M83 は南中高度が低いので、撮影は磐田市にある竜洋海浜公園で行ったが、オートキャンプ場があるため自動車が頻繁に通り、撮影は困難だった。また低空の撮影のため木が入り込み何度か撮影を中断した。また冷却 CCD での撮影は多量の電気が必要で、バッテリー切れのため RGB の撮影は 5 月 2 日に行った。

(今村守孝)